

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都台東区千束3-20-6
園名	台東区立千束保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

合唱と合奏を通して表現する

<テーマの設定理由>

以前より継続して講師による歌唱指導を受け、歌うことが好きな子供たちである。音楽に親しみ、友達と一緒に敬老会や発表会で合唱の披露を通して、歌うことの楽しさ、表現することの楽しさを味わうことで自信につなげていくため。

2. 活動スケジュール

5/30 (金)・6/13 (金)・7/18 (金)
8/22 (金)・10/17 (金)・11/28 (金) 9:45~11:45 3~5歳児 歌唱指導
12/19 (金)・1/23 (金)・2/20 (金)
9/19 (金)・11/14 (金) 9:45~11:45 3~5歳児 歌唱指導 5歳児 合奏指導
3/18 (水) 9:45~11:45 ミニコンサート

1/29 (木) 9:45~11:45 3~5歳児リトミック

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・全員が講師の顔が見えるように間隔を空けて椅子を配置し、立って歌う。
- ・3歳児は日頃から口ずさんでいた歌をクラス全体でも歌えるようクラスに歌詞や絵表示を掲示し、千束っ子合唱団のときにも歌った。
- ・4、5歳児はビデオカメラで歌ったり、演奏したりしている姿を録画する。その後、スクリーンに映し鑑賞会を行う。
- ・歌詞の内容がイメージもてるよう歌詞や絵表示を掲示する。
- ・リトミックでは、ピアノの音に合わせ楽器を使って自由に表現した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・発声練習は自分の体と手を使って音程をとる。(へその「低いド」から始まり頭頂部が「高いド」となる)子供たちが音のイメージをもてるようになり以前よりも音をとれるようになった。
- ・歌うことが苦手な子がいたが、歌に振りを付けることで歌う姿が見られるようになった。また、振りを付けることで歌詞が覚えやすいようであった。
- ・合奏は講師が楽器の扱い方、鳴らし方を楽器一つ一つ見せる。子供たちからは「やってみたい」「鳴らしてみたい」という声が聞かれその後の活動の導入になった。
- ・リトミックでは楽器を使いそれぞれが感じたように音を鳴らし、体を動かすことができた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- 3歳児：子供同士で「この歌のここはこうしよう」と振り付けを歌に合わせて考え踊りだし見ていた子も真似をして楽しむ姿が見られた。
- 4歳児：日常の遊びの中でも自然に口ずさんだり踊ったりする姿が見られる。覚えにくい歌詞や難しい音程も振りを付けて興味をもちながら参加していた。
- 5歳児：日中も曲を流していたためか自然と口ずさんだり、歌詞を覚えたりしていた。歌い方のポイントを教えてもらうことで、意識して楽しんで歌う姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

3歳児：歌うときの姿勢があり、姿勢を正すことで声が出やすく「歌う」スイッチが入る。歌うことでの表現の仕方が上手になる。子供たちにも講師の指導はわかりやすいようである。

4歳児：歌うときの姿勢、声の出し方や強弱を教えていただいたことで、子供たちが少しずつ意識をしていく様子がわかった。

5歳児：講師の指導でピアノの扱い方を教えていただき就学に向け期待をもつことにつながった。歌唱については歌詞の意味や感情の込め方や強弱のつけ方等を教えてもらったことで歌声が変わっていく様子を目の当たりにすることができた。専門的な指導はやはり重要で、子供たちもよい刺激となっている。